編　修　趣　意　書

（教育基本法との対照表）

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-104	小学校	国語科	国語	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2　東書	国語 309・310	新編 新しい国語 三上・新編 新しい国語 三下		

1．編修の基本方針

つなぐ。
「言葉の力」が、新しい君へ。

予測困難な社会において、次の時代を生きる子どもたちに必要なのは、揺るぎない確かな「言葉の力」です。人は、言葉によって世界とつながり、言葉によって世界を広げていきます。「言葉の力」は未来を拓く力そのもの。今の自分を未来の自分へとつなぐために、確かな「言葉の力」を育む。そんな願いを込めて新しい教科書を編修しました。

特色 1

国語の学びが止まらない

子どもたちの「学びたい！」に応える教科書

新しい学びとの出会いは、いつだってわくわくするもの。学ぶ喜びを、全ての子どもに感じてほしい。「国語大好き！」という声があふれる教科書を目指しました。

特色 2

ぐんぐんのびる、国語の力

だれ一人取り残さず、確かな学力をつける教科書

だれもが使える「言葉」。だからこそ使い方が難しい「言葉」。言葉と向き合い、確かな「言葉の使い手」になってほしい。そのための新しい国語の学習を提案します。

特色 3

未来を生きる君だから

デジタル時代の子どもたちを支える教科書

デジタルを使って、自在に情報をとらえ、思考をみがき、言葉をつむぐ。そんな力を育んでほしい。未来という大平原に向かって、子どもたちとともに歩んでいく教科書です。

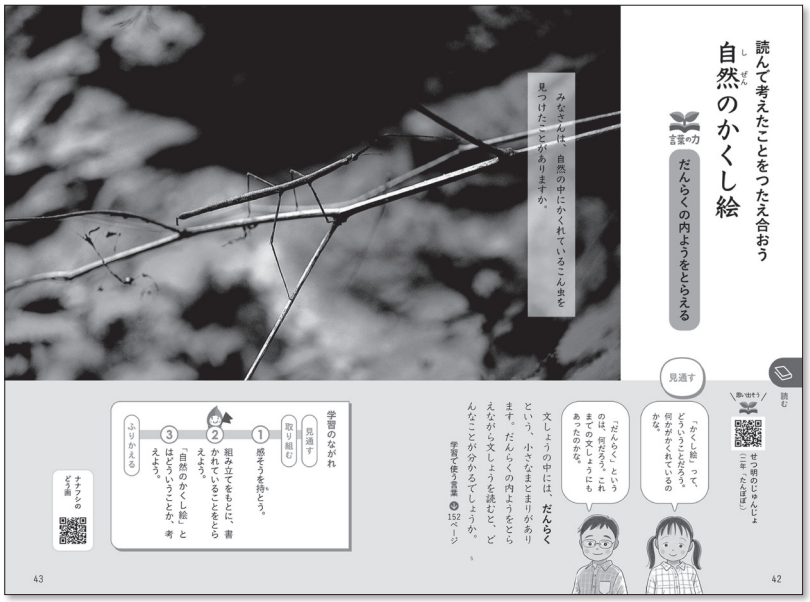
特色 1

国語の学びが止まらない

子どもたちの「学びたい！」に応える教科書

1 子どもの意欲を引き出す、単元導入の工夫

新たな学習との出会いを大切に、単元の導入を刷新しました。「読むこと」では、大きなイラストや写真で教材への興味・関心を引き出し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、2次元コードから展開する動画やアニメーションで言語活動を見通します。主体的に取り組もうとする態度を育み、学習への期待感を引き出します。



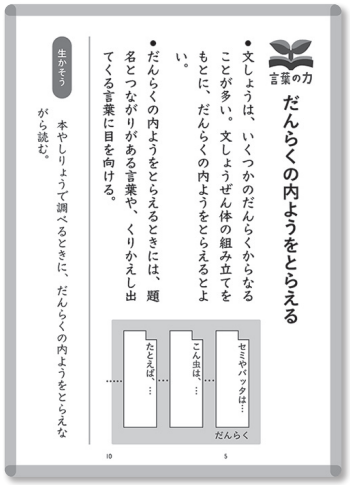
「自然のかくし絵」上 p.42-43

「道具のうつりかわりを説明しよう」下 p.100

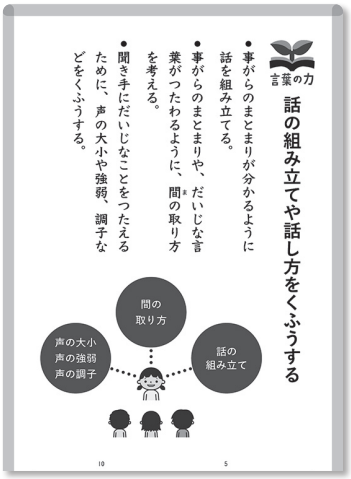
コンテンツ「道具のうつりかわりを説明しよう」

2 何が大切なのかが、一目瞭然

その単元で身につけたい力を「言葉の力」として学習過程の中核に位置付け、図解・イラストとともに明示しました。学習のポイントがひと目でわかります。



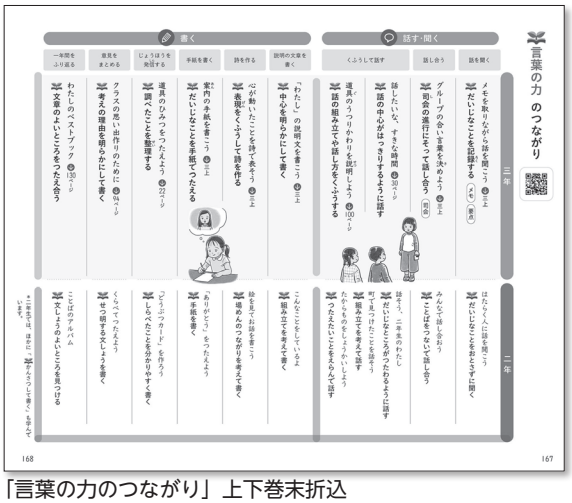
「自然のかくし絵」上 p.52



「道具のうつりかわりを説明しよう」下 p.106

3 つながる「言葉の力」

各領域の「言葉の力」は系統的に構成されています。これまでの学びが次の学びへとつながることを子ども自身が自覚できるように、前学年の学びをふまえた「言葉の力」の一覧ページを設けました。



「言葉の力のつながり」上下巻末折込

特色2 ぐんぐんのびる、国語の力

だれ一人取り残さず、確かな学力をつける教科書

1 つまずかせない、先回りの支援を

「言葉の力」を身につけるには、その土台となる基礎的な言葉の学びが重要です。中でも大切な語彙と文法に特化して、「言葉相だん室」を設けました。特に文法事項では、主述のねじれなど、子どもたちがつまずきやすい項目を精選しています。

「言葉相だん室」上 p.128-129

2 学びを保障する QR コンテンツ

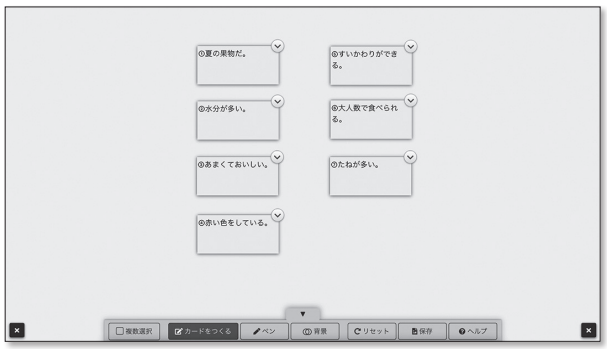
言語教材に関連した QR コンテンツを拡充しました。言葉の特徴や使い方および漢字に関する教材には、練習問題を準備。また、漢字の読み方や筆順、使い方などが分かるコンテンツ「小学校で習う漢字」も用意しました。対面授業、オンライン授業、家庭学習などさまざまな場面で活用でき、一人一人の習熟度に合わせた「個別最適な学び」を支えます。

特色3 未来を生きる君だから

デジタル時代の子どもたちを支える教科書

1 デジタルの力で、学びを広げる

思考を整理したり深めたりするツールとして、ノートを重視しました。紙のノートを基盤としつつ（「国語のノートの作り方」上 p.10-11）、デジタル端末を活用して思考するノート例も示しています（「デジタルノートの作り方」上 p.12-13）。QR コンテンツとして、さまざまな思考活動に役立つデジタルノートを備えており、端末の活用と子どもたちの思考を促します。



コンテンツ「デジタルノート」

2 デジタル時代だからこそ、本に親しむ

端末一つで何でもできる時代だからこそ、本を手にして読む経験を大切に考えました。年間を通して設定した読書単元「本は友だち」では、本を読む楽しさを友達と分かち合う協働的な活動や豊富な図書紹介で、読書に親しむ習慣と態度を育みます。

4月	**図書館へ行こう**
7月	**三年生の本だな** 著名人の読書エッセイと 34 冊の紹介図書
12月	**本から発見したことをつたえ合おう** 読書活動と 9 冊の紹介図書
通年	**こんな本もいっしょに** 「読むこと」単元の関連図書

計94冊

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所（頁）
全体	●教材や題材の選定にあたっては、学年を通して多様な内容やテーマのものを取り上げるように配慮し、幅広い知識や教養を身につけられるようにしました。（第１号）	
導入	●学年冒頭で年間の見通しを持つことで、自主・自律の精神を養い、学習過程を理解することで、主体的に学習に取り組む態度を養います。（第２号） ●ノートの作り方を理解することで、学習の基盤作りと学習習慣の形成に寄与します。（第２号）	上 2-15
言葉の特徴や使い方 言葉／言葉相だん室 漢字を使おう	●言葉の特徴や使い方および漢字やローマ字に関する学習を通じて、言葉や漢字、ローマ字について幅広い知識と教養を身につけることができます。（第１号）	上 36-37，下 28-29 ほか／上 78-79，128-129，下 58-59 上 29，下 57 ほか
情報の扱い方 じょうほうのとびら	●情報の扱い方に関する学習を通じて、情報と情報の関係や情報の整理について、幅広い知識を得ることができます。（第１号）	上 54-55， 下 19-21，92-93
我が国の言語文化 つたえたい言の葉 本は友だち きせつの足音	●言語に関わる文化に触れることを通じて、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養います。（第５号） ●図書館を利用する学習活動を通じて、公共の施設を大切にし、決まりやマナーを守って利用する態度を養います。（第３号） ●多様な図書紹介や読書活動を通して、幅広い知識と生涯にわたる読書習慣を身につけることができます。（第１号）	上 116-119，下 70-75 上 30-33，100-105， 下 64-69 上 34-35，99，下 27，69
話すこと・聞くこと あなたのこと、教えて メモを取りながら話を聞こう グループの合い言葉を決めよう 話したいな、すきな時間 道具のうつりかわりを説明しよう	●個々の興味や関心、ものの見方・考え方や価値観の交流を通じて、多様な個性を認め合い尊重する態度を養います。（第２号） ●他者と協働したり関係を結んだりする学習活動や、考えの交流・共有により相互理解や合意形成を図る学習活動を通じて、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養います。（第３号）	上 14-15 上 38-41 上 120-126 下 30-33 下 100-106
書くこと 「わたし」の説明文を書こう 心が動いたことを詩で表そう 案内の手紙を書こう 道具のひみつをつたえよう クラスの思い出作りのために わたしのベストブック	●個々の興味や関心、ものの見方・考え方や価値観の交流を通じて、多様な個性を認め合い尊重する態度を養います。（第２号） ●他者と協働したり関係を結んだりする学習活動や、考えの交流・共有により相互理解や合意形成を図る学習活動を通じて、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養います。（第３号） ●詩創作で感性豊かに表現することを通じて、豊かな創造性を培います。（第２号）	上 56-61 上 80-83 上 112-115 下 22-26 下 94-99 下 130-133
読むこと（文学的文章） 春の子ども／ぼくが　ここに すいせんのラッパ ワニのおじいさんのたから物 サーカスのライオン 紙ひこうき／夕日がせなかをおしてくる モチモチの木 ゆうすげ村の小さな旅館	●自他の尊重、人間愛や他者への思いやり、人間の生き方、生命の尊さに触れた文章に触れることを通じて、豊かな情操と道徳心を培うとともに、自他の敬愛を重んじ生命を尊重する態度を養います。（第１号、第３号、第４号） ●自然への親しみや感動、畏敬を表現した文学的文章に触れることを通じて、生命を尊び、自然を大切にする態度を養います。（第４号）	上巻頭／下巻頭 上 16-28 上 64-76 上 108-111 上 130-148 下 38-56 下 110-126
読むこと（説明的文章） 自然のかくし絵 「給食だより」を読みくらべよう せっちゃくざいの今と昔 カミツキガメは悪者か	●自然や生命の不思議について述べた説明的文章に触れることを通じて、生命を尊び、自然を大切にする態度を養います。（第４号） ●身近な物や道具の歴史について知ることを通じて、幅広い知識を身につけるとともに、伝統と文化を尊重する態度を養います。（第１号、第５号）	上 42-52 上 90-98 下 8-18 下 76-90
付録	●学習に役立つ資料を用意し、主体的に学習に取り組む態度を養います。（第２号）	上 150-168 下 134-170

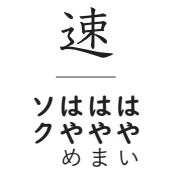
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 全ての児童が学習しやすい紙面作りへの配慮

① ユニバーサルデザインへの取り組み

- 色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。
- 学習に集中して必要な情報を捉えられるように、紙面内の文字や図版などの区別を明確にし、配置や色使いを工夫しました。
- フォントは、文字指導にも適した独自開発の教科書体を中心とし、漢字の読みなど文字が小さい箇所には、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しました。

② 特別支援教育への配慮



上 p.19 脚注

- 特別支援教育の研究者に専門的見地からの監修・校閲を受け、全ての児童にとって読みやすく使いやすい教科書となるように配慮をしています。
- 漢字の読みと送り仮名は、これまでの示し方を見直して、より重要な情報である読みを強調しました。
- 物語・説明文教材では、５行ごとの行数字の間に１行ごとの点を示すことで、特定の行を見つけやすくしています。
- ローマ字には、特別支援教育の研究者の助言の下で英語教科書用に新たに開発した、文字指導に適したユニバーサルデザイン書体を使用しています。
- 特別支援教育に有効な機能が充実した「学習者用デジタル教科書」を全書目で発行予定です。
- 弱視の児童のために、教科書と同一内容の「拡大教科書」および「学習者用デジタル教科書」を発行予定です。

③ 多様性への配慮

- 話例や文例、写真やイラストなどに登場する人物について、性別や人種、身体的特徴、家庭環境等に偏りがないように配慮しています。

④ 外国人児童など、日本語指導が必要な児童への配慮

- 「言葉の広場」（上 p.154-155, 下 p.152-153）と「学習で使う言葉」（上 p.152-153, 下 p.150-151）で、日常生活や学習活動に必要な語彙を一覧にまとめています。さらに全学年分の「言葉の広場」をまとめた QR コンテンツを用意し、児童の日本語習熟度に合わせて必要な語彙を選んで見ることができるようにしています。
- 「言葉相だん室」（上 p.78-79, 下 p.58-59）で、それらの語彙を活用する学習を行い、定着を図ります。
- 「読むこと」の教材文の中で意味説明が必要な語句について、図なども取り入れて丁寧に解説を加えています。

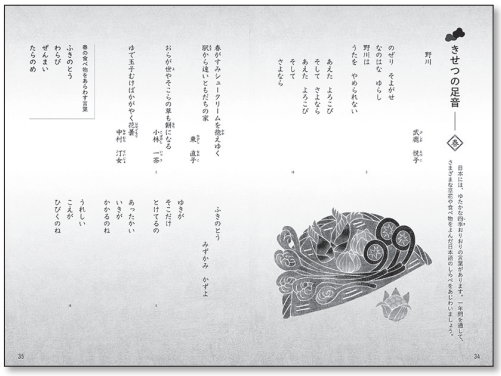
「学習で使う言葉」上 p.152-153

2. 教育の情報化への取り組み

- 情報教育の研究者や実践者に専門的見地からの指導や校閲を受け、コンピューターを活用して、教科の学びを効果的に高めることができるようにしています。
- １人１台端末環境の実現に伴い、２次元コードからリンクする特設コンテンツとして「コンピューターを学習に生かそう」を設けています。自律した端末の使い手となれるよう、さまざまな場面での活用を促すとともに、情報モラルを含めた留意点についても楽しく学ぶことができます。
- 教科書単元と連動した QR コンテンツを豊富に用意しています。対面授業やオンライン授業だけでなく家庭における自学自習にも活用できます。

3. 言語文化の豊かさを学ぶ教材の充実

- 「つたえたい言の葉」では、慣用句や俳句など、伝統的な言語文化に関わる教材を取り上げて、日本語の美しさ、豊かさに触れられるようにしています。（上 p.116-119, 下 p.70-75）
- 「きせつの足音」では、四季それぞれに季節感あふれる詩歌と語彙を、美しい挿絵とともに掲載しています。（上 p.34-35,99 下 p.27,69）



「きせつの足音」上 p.34-35

4. 授業支援と教員の負担軽減への取り組み

- 何を学ぶのか（「言葉の力」）、どのように学ぶのか（「学習の流れ」）を明示するとともに、児童の活動や思考の流れを具体的に記述しています。指導計画・評価計画が立てやすく、無理なく指導できます。
- 多くの単元に、導入に役立つ QR コンテンツが付いているので、授業準備の効率化を図ることができます。

編　修　趣　意　書

（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-104	小学校	国語科	国語	3
発行者の番号・略称	**教科書の記号・番号**	**教科書名**		
2　東書	国語 309・310	新編 新しい国語 三上・新編 新しい国語 三下		

1．編修上特に意を用いた点や特色

特色 1　国語の学びが止まらない

子どもたちの「学びたい！」に応える教科書

1　学習の流れが、分かる！見える！

「言葉の力」を核に、「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」がひと目で分かる紙面になっています。「見通し」と「振り返り」を重視した単元構造です。

見通す

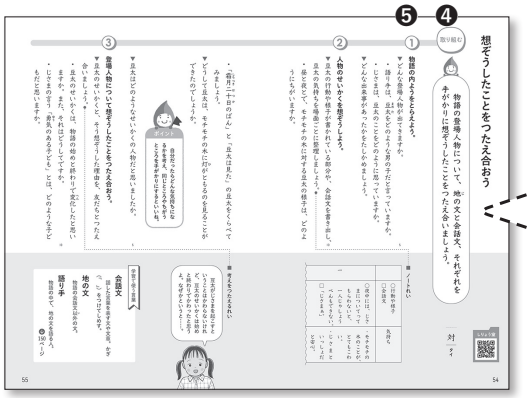
学びの手順をしっかりと示すとともに、ワイドなイラストや写真で、学習への意欲が高まるようにしました。

❶「**言葉の力**」で、何を学ぶのかを見通します。

❷「**思い出そう**」で、この単元の学習に関連の深い既習の「言葉の力」を想起します。

❸「**学習の流れ**」で、どのように学ぶのかを見通します。

取り組む

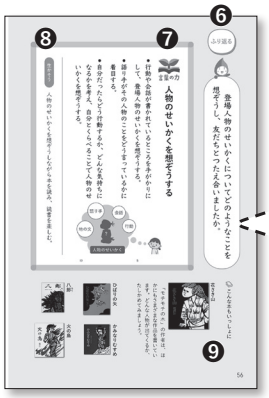


全体像を捉えやすい**見開き構成**とし、上下二段組によって学習活動を構造化しました。

❹初めに、単元を通した**学習のめあて**を提示します。

❺上段で、学習過程に沿った課題を示し、下段で、課題に取り組む視点や学びの具体の姿を示します。

ふり返る



「モチモチの木」下 p.38-56

学びの定着には、子ども自身が、学んだことをどう自覚するかが重要です。

❻「**ふり返る**」では、「言葉の力」をふまえて、振り返りの視点を焦点化しました。

❼「**言葉の力**」で、図解とともに学習のだいじなポイントを示します。

❽「**生かそう**」で、他教科や日常生活での「言葉の力」の活用を促します。

❾「**こんな本もいっしょに**」で、教材に関連する本を紹介。読書へ誘います。

2　学年冒頭には、年間の見通しを

1 年間に学習する単元と「言葉の力」をロードマップに仕立て、年間の見通しを持てるようにしました。全学年の「言葉の力」を領域別・学年別に一覧できる QR コンテンツが付いています。

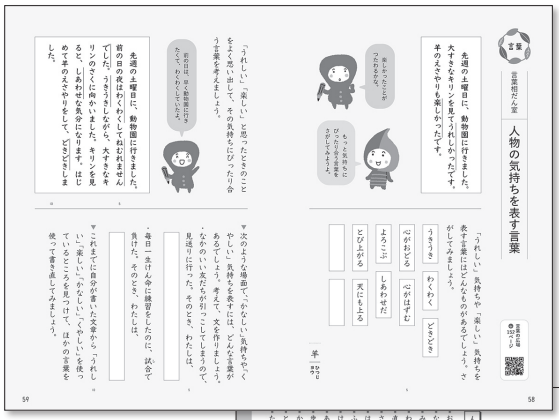
「言葉の力を集めよう」上・下 p.6-7

特色 2

ぐんぐんのびる、国語の力

だれ一人取り残さず、確かな学力をつける教科書

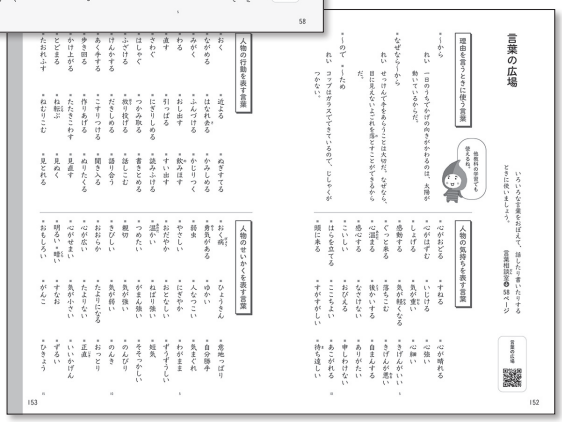
1 思考力を高める「語彙」と「情報の扱い方」



「言葉相だん室」
下 p.58-59

「言葉相だん室」では、伝えたい内容に適した語を選んで文を書く活動を取り入れて、子どもたちが実の場で使える語彙を増やすように工夫しました。巻末付録「言葉の広場」は、当該学年の教材との関連も考慮して、語を選定しています。

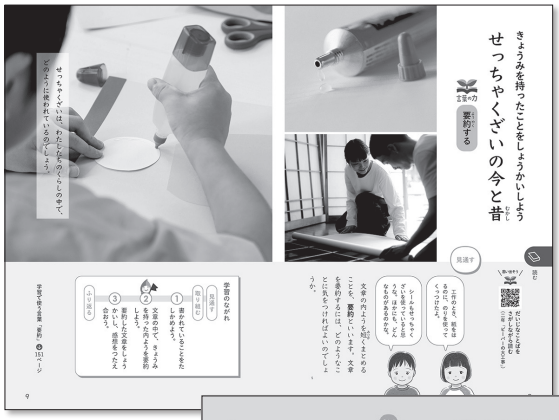
学年に３箇所設定した「じょうほうのとびら」は、学習指導要領の「情報の扱い方に関する事項」を、「関係・論理・整理・調査」の観点で系統立てて教材化したものです。身近な題材を取り上げて、親しみやすいキャラクターとともに学ぶ仕立てになっています。



「言葉の広場」下 p.152-153

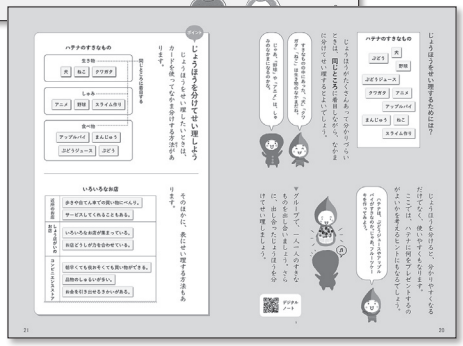
「じょうほうのとびら」下 p.92-93

2 今求められる学力に対応した教材

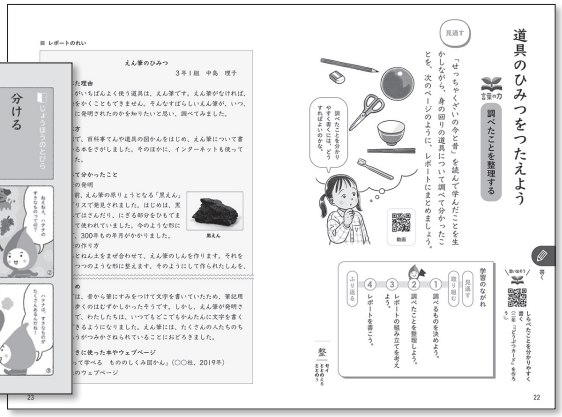


「せっちゃくざいの今と昔」
（説明文）下 p.8-18

一つ一つの教材で学んだ力は、他の教材の学習とつないで有機的に活用させることで、生きて働く力となります。情報化社会に不可欠な「情報」を扱う力については特に配列を工夫して、確実な獲得を目指しました。３年生では、情報を整理する力について、説明文を起点とした学習活動の流れの中に位置づけ、定着を図ります。そのほか、情報の全体と中心を捉えたり、考えと理由のつながりを精査したりする力なども、教材相互の関連を図ることでよりいっそう効果的に学べるように設定しました。



「じょうほうのとびら」下 p.19-21



「道具のひみつをつたえよう」（書くこと）下 p.22-26

特色 3

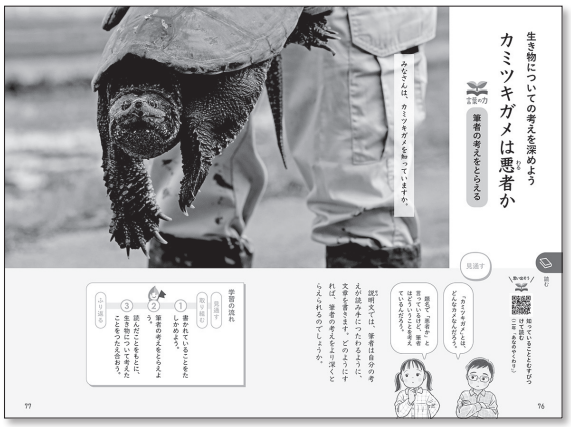
未来を生きる君だから

デジタル時代の子どもたちを支える教科書

1 未来の子どもたちへのメッセージ

学年の発達段階に応じて、SDGs などの現代的諸課題に関連する教材や題材を取り上げました。

また、特設ページ「未来を生きる君へ」は、自らの「言葉」で未来を切り拓き、さまざまな世界で活躍している方々からのメッセージです。言葉の多面的な魅力に触れるとともに、生き方について考えるきっかけにもなります。



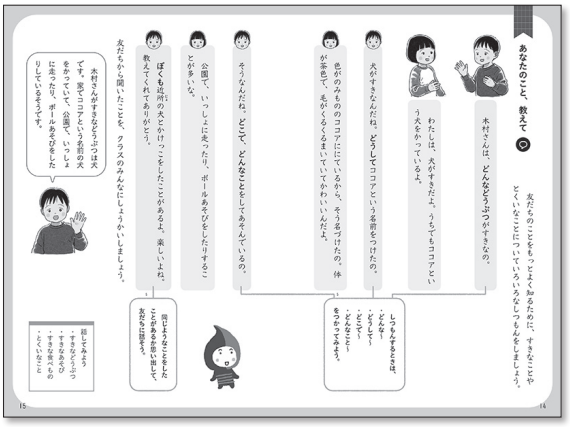
「カミツキガメは悪者か」下 p.76-90（外来種についての説明文）

「未来を生きる君へ」上 p.106-107

2 想像力とコミュニケーション力を育てる

デジタル社会だからこそ大切に育みたい想像力とコミュニケーション力。文学的文章は、学年の発達段階に応じて、人の生き方や他者への思いやり、生命の尊重などを中心としたさまざまなテーマで、想像力を豊かに育む教材を厳選しています。

また、言葉によるコミュニケーションを重視し、学年の最初に、友達との対話を通じて考えを広げたり深めたりする活動を位置づけました。ここで身につけた対話の力が、年間を通して児童の対話的な学び、協働的な学びを支えます。



「あなたのこと、教えて」上 p.14-15

3 教科書と連動したコンテンツが学びを広げる

教科書と連動した QR コンテンツを豊富に用意しました。単元導入の動画やアニメーション、「話すこと・聞くこと」のモデル動画、漢字や言葉の学習の練習問題、随時使える資料など、多彩なコンテンツが子どもの学びを豊かに広げます。

例えば、動画をきっかけに子どもたちが話し合いを活発化させたり、自分の進度に合わせて練習問題に取り組んだりするなど、「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現にもつながります。

授業や家庭学習への支援として、教員の負担軽減につながることも期待できます。

コンテンツ「自然のかくし絵」

コンテンツ「キーボードで入力してみよう」（タイピング練習）

3 年生の QR コンテンツ

観点別特色一覧

観　点	特色及び該当箇所例（頁）
教育基本法・学習指導要領との対応	●教育基本法第１章第２条の各項に照らし、教育の目標に示された内容を幅広く取り扱うことができるよう、教材の選定や学習活動の設定に意を用いました。 ●小学校学習指導要領（国語科）に示された各学年の内容をもれなく扱うとともに、教科及び各学年の目標が確実に達成できるよう、単元や教材の内容を設定し、適切に組織・配列しました。
学びの系統性	●学習指導要領の学年の目標と内容をもれなく扱うとともに、各教材や単元において扱う内容を重点化し、６年間を通じて**段階的・系統的**に学習が積み上がるようにしています。 ●単元ごとに学習を通じて育成する資質･能力を**「言葉の力」**として明確化し、6 学年を通して系統的に配列しました。**イラストや図解**を取り入れて視覚的にも理解しやすい工夫をしています。 ●上下巻の巻頭には「言葉の力を集めよう」として、年間の学習を一覧して見通せるページを設けました。 ●「言葉の力」の相互のつながりを確かめたり意識したりできるように、単元の導入では「思い出そう」として既習事項の想起を促しています。また、上下巻の巻末折込には「言葉の力のつながり」として、三年生で学習する「言葉の力」を領域ごと、系統ごとに示し、あわせて二年生の「言葉の力」を掲載することで、学びのつながりを可視化しました。
単元構成	●学習過程を**「見通す」**→**「取り組む」**→**「ふり返る」**として、課題解決的な構成にするとともに、各巻冒頭の「国語の学習の進め方」で、課題解決的な学習の進め方を確かめられるようにしました。 ●単元冒頭でその単元の「言葉の力」を提示し、何を学ぶかを明確にするとともに、**「学習の流れ」**を提示して、どのように学ぶかという見通しを持って学習に取り組めるようにしました。 ●学習の展開に応じて「言葉の力」に関わる大切な視点や観点を示唆する問いを投げかけ、**言葉による見方・考え方**をしっかりと働かせながら学習に取り組めるようにしました。 ●友達との**協働的な学び**や学び合い、考えの**共有**の場面を多く設定し、**対話的な学び**を展開できるようにしました。 ●単元末「ふり返る」では、「言葉の力」をふまえて、振り返りの観点を焦点化しました。何が分かったか、何ができるようになったかという学習の価値付けをするとともに、今後への課題を見いだせるようにしました。また、併せて「言葉の力」の活用を促す**「生かそう」**を提示し、学習の有用感を高めるようにしました。
知識・技能の習熟・定着	●知識及び技能については、各領域の学習の中で繰り返し扱うとともに、必要に応じて取り立てた教材を設け、確実に定着が図れるようにしました。 ●「漢字を使おう」前学年で学習した**漢字**の習得を確かなものにするために、文の中で語としての漢字を使う教材を年 10 箇所設けました（上 p.29、下 p.57 ほか）。「言葉相だん室」**文法と語彙**に特化した小教材。文法では、児童のつまずきが多い事項を精選して取り上げ（上 p.128-129）、語彙では、書く活動を取り入れることで実の場で使える語彙として拡充を図るようにしました（上 p.78-79、下 p.58-59）。「じょうほうのとびら」**情報**の扱い方に関する事項を系統立てて整理し、年 3 箇所で教材化しました（上 p.54-55、下 p.19-21、p.92-93）。「学習で使う言葉」学習場面で繰り返し使う大切な**用語**を一覧できるようにしました。（巻末付録　上 p.152-153、下 p.150-151）
思考力、判断力、表現力の育成	●**１単元１領域**を原則として指導事項を重点化するとともに、重点指導事項に即した具体的な言語活動を設定し、活動の目的や条件にそった課題解決的な学習を通して、必要な思考力、判断力、表現力等が身につくようにしました。 ●思考を広げたり整理したりするツールとしてのノートやメモ、カードや図表を重視し、随所に例示しました（上 p.58、下 p.17 ほか）。学習の基盤として、特にノートを重視し、**「国語のノートの作り方」**を設けました（上 p.10-11）。さらに、**「デジタルノートの作り方」**として、タブレット等で思考ツールを用いた例を示し、思考を可視化することでより広く深い思考へと導くようにしています（上 p.12-13）。 ●児童の発達段階を考慮しつつ、単元のねらいに応じた多彩な言語活動を設けました。
主体的に取り組む態度の育成	●**見通しと振り返り**を重視しました。 ●当該学年で学習する「言葉の力」をロードマップで一覧できる「言葉の力を集めよう」（上 p.6-7，下 p.6-7）で、年間の学習への見通しを、単元冒頭の「学習の流れ」で単元の学習への見通しを持てるようにしました。 ●単元末の「ふり返る」では、結果だけでなく過程への評価を促すような文言を示しました。
程度・分量・配列	●教材や題材は、児童の関心や発達の段階に合わせて適切なものを取り上げました。 ●学年の配当時数に応じて適切な単元･教材数、分量とし、領域ごとのバランスにも配慮しました。また、単元ごとに、内容に応じて適切な時数を配当しました。 ●領域ごとの学習のつながりに配慮するとともに、領域相互の関連にも配慮しました。 ●複式指導に配慮して、第３学年と第４学年でなるべく同じ時期に同じ領域の学習を位置付けるように配列しています。
他教科関連	●各校の**カリキュラム・マネジメント**に資するよう、取り扱う題材は、他教科等との合科的・関連的な指導が図れるものや、家庭や地域との連携が図れるものを積極的に選定しました。 ●当該単元で身につけた「言葉の力」の活用を促す「生かそう」において、他教科の学習場面や生活場面を具体的に例示しました。
特別支援が必要な児童への配慮（ユニバーサルデザインを含む）	●学習に集中して必要な情報を捉えられるように、紙面内の文字や図版などの区別を明確にし、配置や色使いを工夫しました。 ●フォントは、文字指導にも適した独自開発の教科書体を中心とし、漢字の読みや図書の紹介文など文字が小さい箇所には、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しました。 ●漢字の読みと送り仮名は、これまでの示し方を見直して、より重要な情報である読みを強調しました。 ●ローマ字には、特別支援教育の研究者の助言の下で英語教科書用に新たに開発した、文字指導に適したユニバーサルデザイン書体を使用しています。
表記・表現、印刷・造本	●文章は的確・簡潔で、学年段階に応じて分かりやすい表現としました。表記や用語は統一した基準を設けています。 ●表紙は耐久性に優れた加工を施し、製本は特に堅牢な針金綴じを用いています。 ●用紙は十分な強度を保ちつつ軽量化したものを使用しています。 ●環境に配慮して、再生紙、植物油インキを使用しています。 ●印刷業団体が定めた環境配慮基準を満たした「グリーンプリンティング認定工場」で印刷・製造を行っています。

2. 対照表

該当箇所（ページ）	図書の構成・内容（単元名）	学習指導要領の内容				配当時数					配当学期	
		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等			知・技	話・聞	書く	読む	計		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと							
上 14	あなたのこと、教えて	(1)ア	(1)オ				2			2	一学期	前期
上 16	●音読を聞き合おう／すいせんのラッパ	(1)ク			(1)イ(2)イ				6	6		
上 30	図書館へ行こう	(3)オ				2				2		
上 36	国語じてんの使い方	(2)イ				2				2		
上 38	メモを取りながら話を聞こう		(1)エ(2)イ				4			4		
上 42	●読んで考えたことをつたえ合おう／自然のかくし絵	(1)カ(2)ア			(1)アカ(2)ア				8	8		
上 54	じょうほうのとびら：全体と中心	(2)ア		(1)イ				2		2		
上 56	「わたし」の説明文を書こう	(2)ア		(1)アイエ(2)ア				12		12		
上 62	漢字の表す意味	(1)エ				2				2		
上 64	●物語をみじかくまとめてしょうかいしよう／ワニのおじいさんのたから物	(1)カ			(1)エ(2)イ				8	8		
上 78	人物やものの様子を表す言葉	(1)エ		(1)エ				2		2		
上 80	心が動いたことを詩で表そう			(1)アエオ(2)ウ				6		6		
上 89	ローマ字①	(1)ウ				3				3		
上 90	●書き手のくふうを考えよう／「給食だより」を読みくらべよう	(2)ア			(1)アオ(2)ア				8	8		
上 100	三年生の本だな	(3)オ				2				2		
上 108	紙ひこうき／夕日がせなかをおしてくる	(1)ク			(1)エ(2)イ				2	2	二学期	
上 112	案内の手紙を書こう	(1)キ		(1)イエ(2)イ				5		5		
上 116	慣用句を使おう	(3)イ		(1)ア				3		3		
上 120	グループの合い言葉を決めよう		(1)オ(2)ウ				7			7		
上 128	主語とじゅつ語、つながってる？	(1)カ		(1)エ				2		2		
上 130	●中心人物について考えたことをまとめよう／サーカスのライオン	(1)オ			(1)イ(2)イ				9	9		
下 8	●きょうみを持ったことをしょうかいしよう／せっちゃくざいの今と昔	(2)イ			(1)ウカ(2)ア				8	8		後期
下 19	じょうほうのとびら：分ける	(2)イ		(1)ア				2		2		
下 22	道具のひみつをつたえよう	(2)イ		(1)アイ(2)ア				10		10		
下 28	こそあど言葉	(1)カ				2				2		
下 30	話したいな、すきな時間		(1)アイ				6			6		
下 34	漢字の読み方	(1)エ				3				3		
下 37	ローマ字②	(1)ウ				2				2		
下 38	●想ぞうしたことをつたえ合おう／モチモチの木	(1)オ			(1)イ(2)イ				9	9		
下 58	人物の気持ちを表す言葉	(1)オ		(1)エ				2		2		
下 60	いろいろなつたえ方	(1)ア		(1)エ				4		4		
下 64	本から発見したことをつたえ合おう	(3)オ			(1)カ(2)ウ				4	4		
下 70	俳句に親しもう	(3)ア			(1)オ				3	3	三学期	
下 76	●生き物についての考えを深めよう／カミツキガメは悪者か	(2)ア			(1)アオ(2)ア				9	9		
下 92	じょうほうのとびら：考えと理由	(2)イ		(1)ウ				2		2		
下 94	クラスの思い出作りのために	(2)イ		(1)イウオ(2)ア				8		8		
下 100	道具のうつりかわりを説明しよう	(1)イ	(1)イウ(2)ア				10			10		
下 108	くわしく表す言葉	(1)カ				2				2		
下 110	●物語のしかけのおもしろさをつたえ合おう／ゆうすげ村の小さな旅館	(1)オ			(1)オカ(2)イ				9	9		
下 128	漢字の組み立てと意味	(1)エ(3)ウ				2				2		
下 130	わたしのベストブック			(1)アオ				6		6		
	漢字を使おう（1 ～ 10）	(1)エ		(1)エ				10		10		
計						22	29	76	83	210		
書写および予備										35		
総計										245		